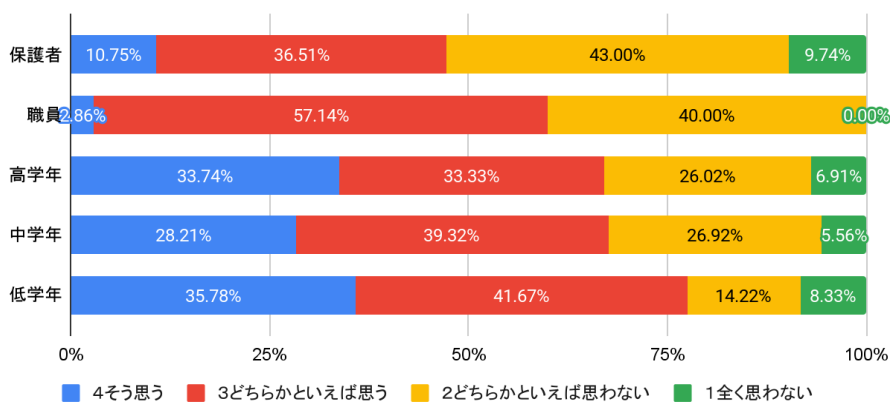


学校評価アンケート結果

先日は学校評価アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。いただきましたアンケートは次年度に生かして参りたいと思います。

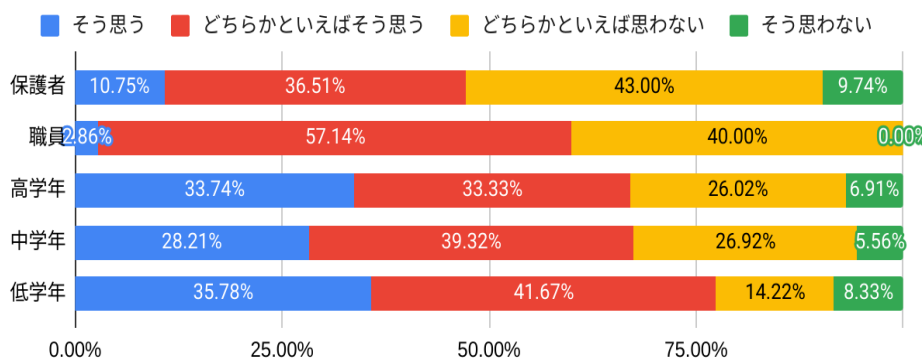
1 お子さんは自分から進んで学習をすることができる。



保護者（62%→64%）は昨年度より若干向上した。また、高学年児童（79%→83%）の評価が向上している。評価の低かった点にも目を向け、今後も学校・家庭・地域など様々な学習環境の中で、学習意欲を喚起する機会を作っていく必要がある。

2 お子さんは家庭で学習を進める際に計画を立てて行うことができている。

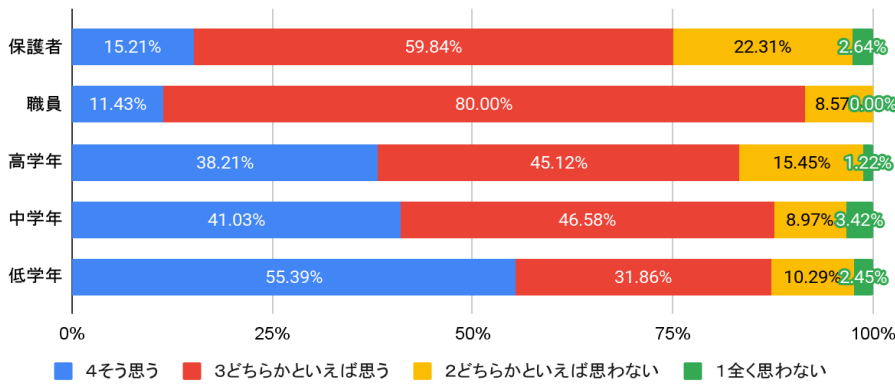
R5



教職員（43%→60%）の評価が上がり、単元のはじめに学習計画を立て、学習を進める学習形態が定着しつつあることがみてとれる。

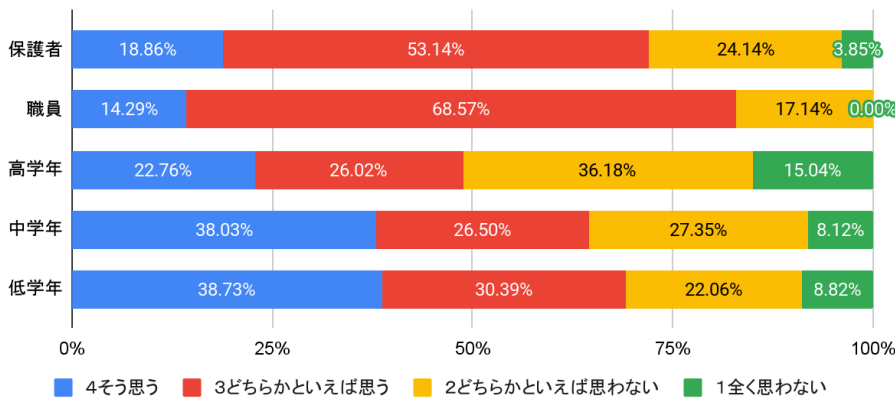
保護者、児童の評価は大きな変化がないため、学校での学びが継続され、児童の主体的な学びへと繋がるようにしていきたいと考える。

3 お子さんは前に学習したことを次の学習に活かして問題を解くことができる。



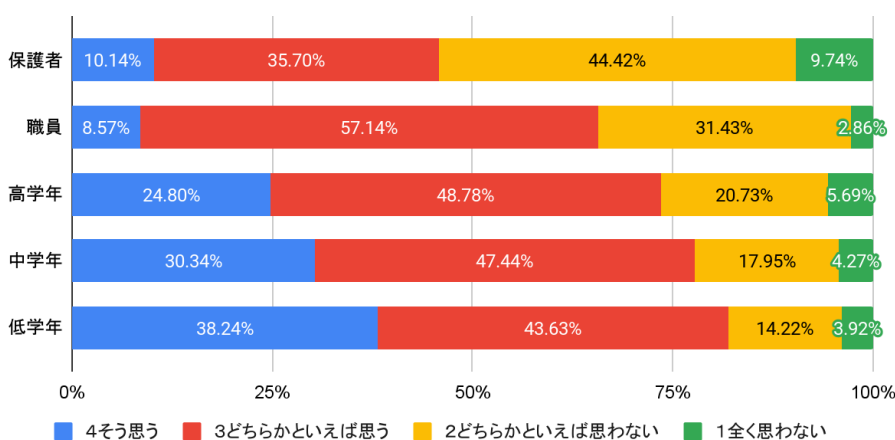
昨年度に比べ、教職員（79%→91%）、高学年（80%→83%）、低学年（81%→87%）の肯定的意見の向上が見られた。しかし、保護者（79%→75%）の肯定的意見は低下していた。今後も基礎基本の定着と関連付けた学びを継続していきたい。

4 お子さんは学習し答えに辿り着いた道筋を家の人にお話することができる。



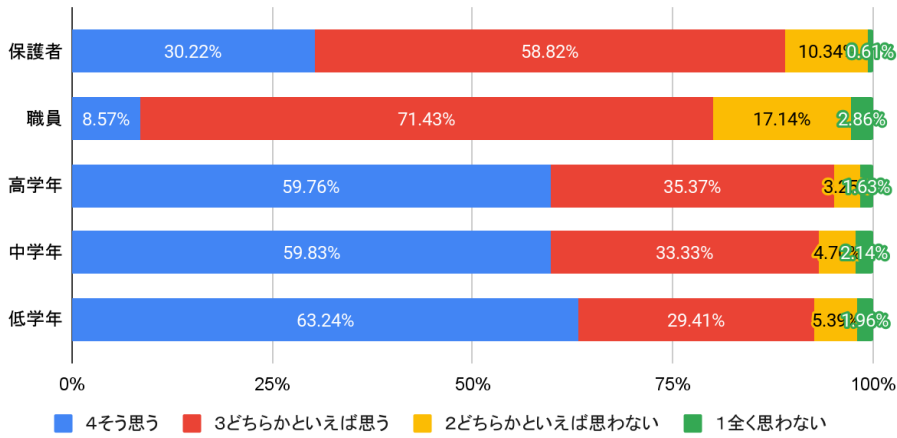
児童の肯定的意見が低下し、否定的意見は昨年度と同様の結果がみられた。家庭・学校・地域の場で、児童から話す機会を設けるなど自信を持って相手に伝える経験を増やしていくことが大切と考える。

5 お子さんは感想文や作文をわかりやすく書き表すことができる。



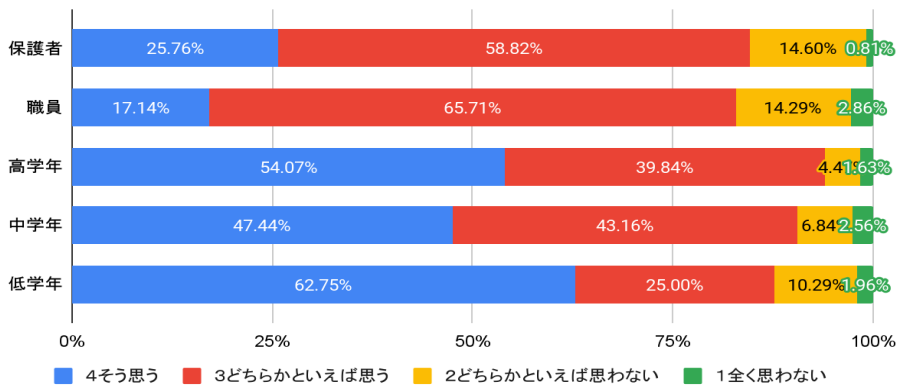
児童の肯定的意見は、向上していた。しかし、否定的意見も増えていた。また、保護者、教職員の評価との認識の差も見られる。わかりやすく書き表す機会や時間をしっかりと持ち、児童の書いたものを保護者と共有していくことが大切と考える。

6 お子さんは相手の立場になって考えることができる。



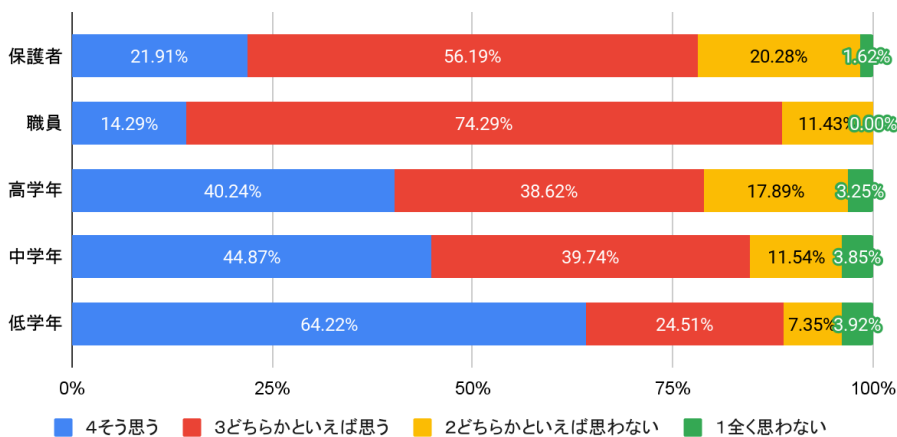
児童の肯定的意見の向上が見られた。しかし、保護者、職員の肯定的意見は児童に比べ低さを感じる。常に相手の心情を考えさせる場を設け、思いやりの心の育成に努めていきたいと考える。

7 お子さんは挨拶や返事等の礼儀が身についている。



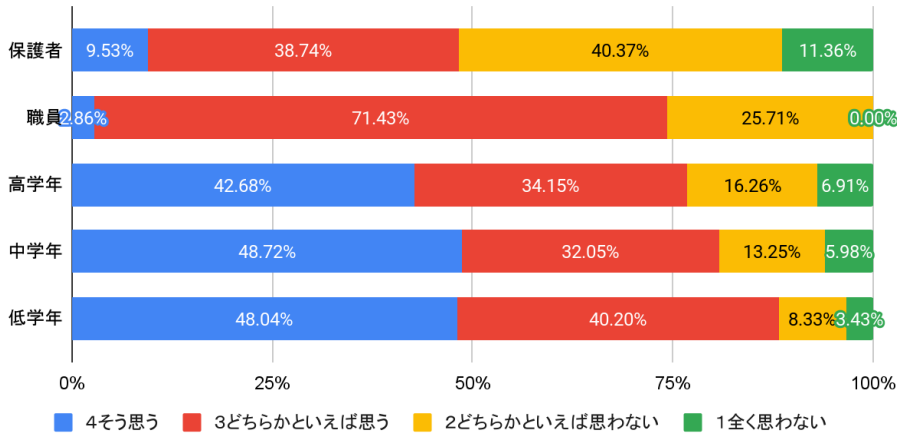
教職員（64%→83%）
高学年児童（84%→94%）
の肯定的意見の向上が見られた。児童主体の日常の挨拶運動等の成果が現れていると感じる。しかし、挨拶のない児童も見られる。学校だけでなく、家庭・地域それぞれが意識を高く持ち、協力して実践していくことが重要である。

8 お子さんは決めたことを最後まで諦めずに取り組むことができる。



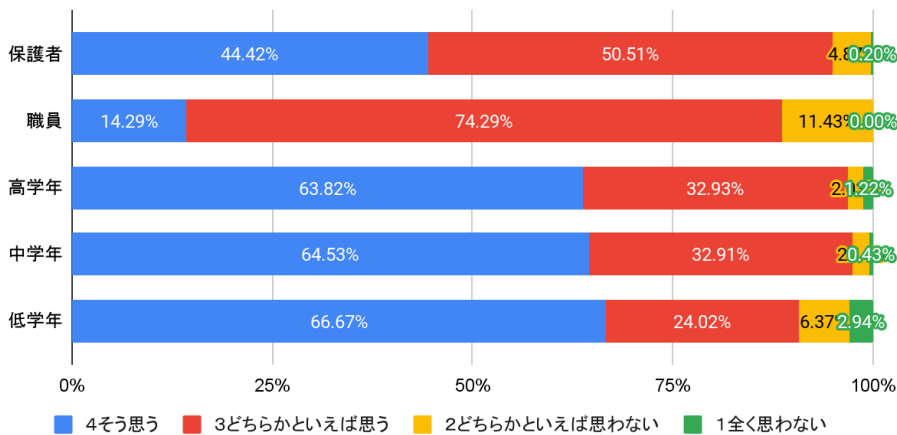
保護者、職員の肯定的評価は向上しているが、児童の評価の数値が若干落ちている。また、児童の否定的意見の増加も見られた。児童の達成感、成就感の形成が必要と考えられる。

9 お子さんは身の回りの整理・整頓をすることができる。



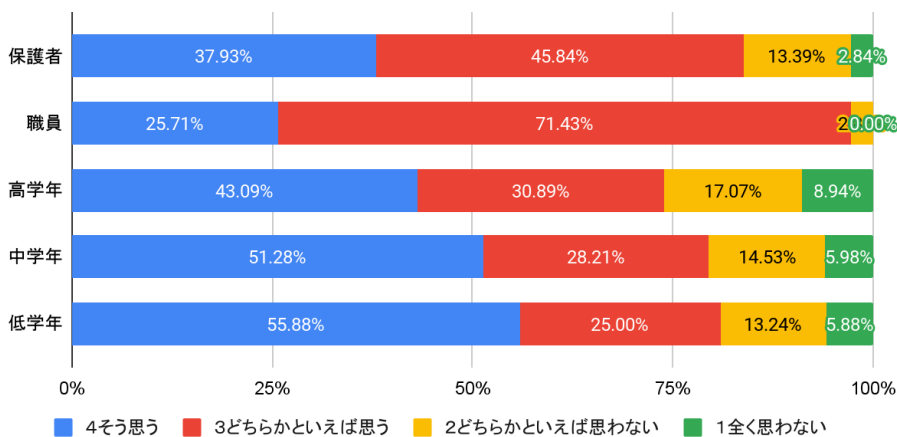
肯定的意見の保護者職員の数値と児童の数値の差が大きく開いている。しかし、経年変化をみると全ての評価者の数値は向上している。三者間の評価規準が同じになるよう、家庭・学校での日頃の児童への指導、支援を大切にしていかなければならないと考える。

10 お子さんは交通ルールなどの約束を守って生活することができる。



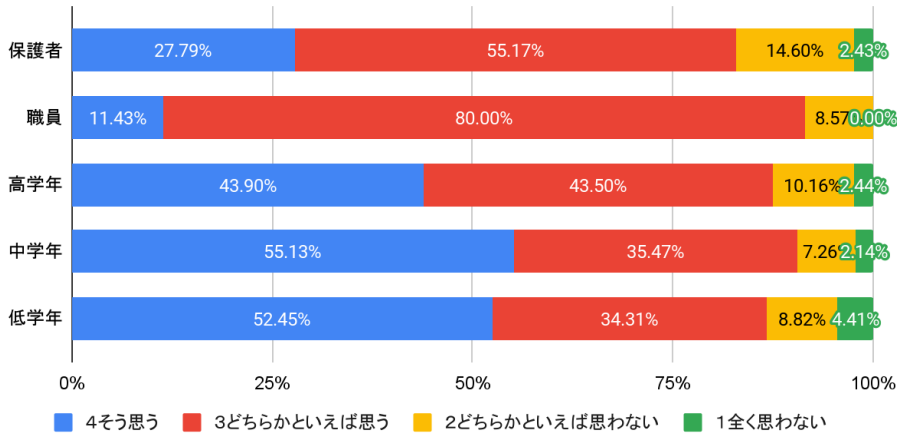
三者の評価共に高い結果が得られた。セーフティーウォッチャ、PTAの見守り活動など交通安全指導の成果である。児童の生活環境は年々変化していくため、常に児童自身の安全管理意識の向上を目指し、今後も家庭・学校・地域と連携し進めていかなければならないと考える。

11 お子さんは帰ってきてから、その日の学校の様子を話してくれる。



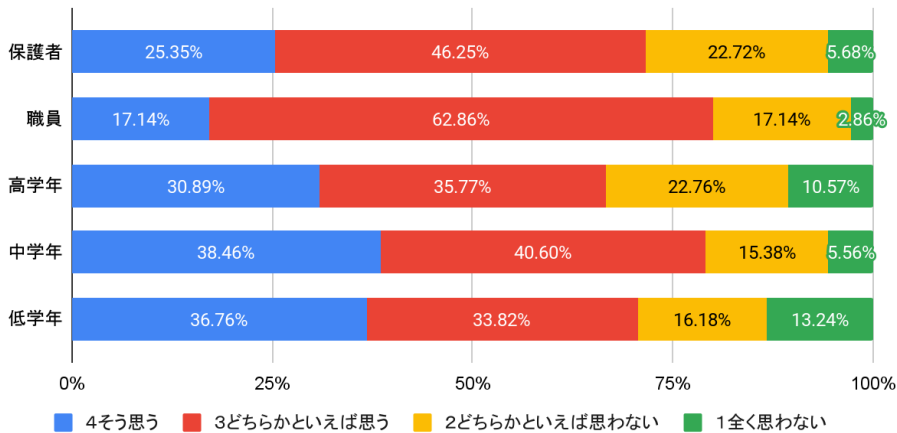
保護者、職員、児童と肯定的評価が得られた。また、否定的評価の数値も昨年度に比べ低下している。今後も子どもたち一人一人の声に共感的に耳を傾け、安心感の形成を培っていききたい。

12 お子さんは家庭で約束したことを守ることができていると思う。



三者の評価は8割以上の肯定的評価となった。否定的評価も低下したが、その評価にも目を向け、家庭・地域・学校が連携をし、子供自身のためにも規範意識の醸成を常に行って行かなければならない。

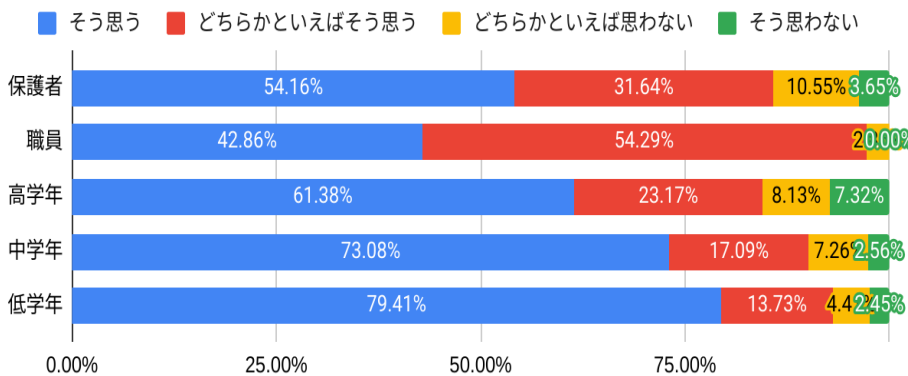
13 お休みの日でも規則正しい生活を送ることができる。



保護者、児童の肯定的評価は、昨年度とほぼ同様であった。しかし、否定的評価の高学年児童（21%→33%）、低学年児童（0%→29%）の評価の増加傾向が見られた。

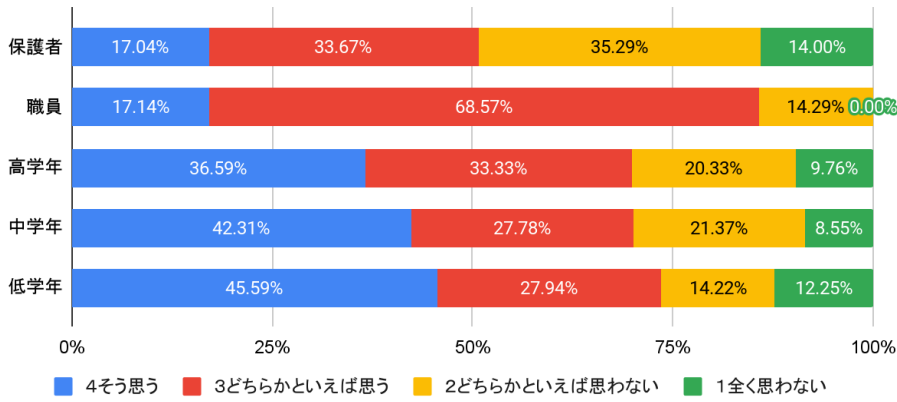
14 お子さんは体を動かして遊んだり、体験したりすることが好きだ。

R5



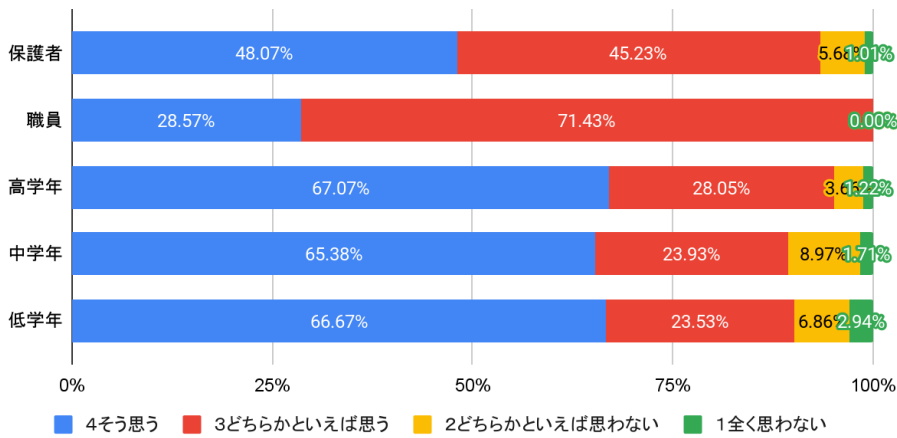
昨年度に比べ、三者共に85%以上の高評価となった。コロナが5類となり、規制のない中での活動ができるようになってきていることも大きな要因となっている。今後も子どもたちの五感を感じながらの学び、遊び、体験を大切にしていきたい。

15 お子さんは学校や習い事の課題以外に、自分で学習をする時間を作っている。



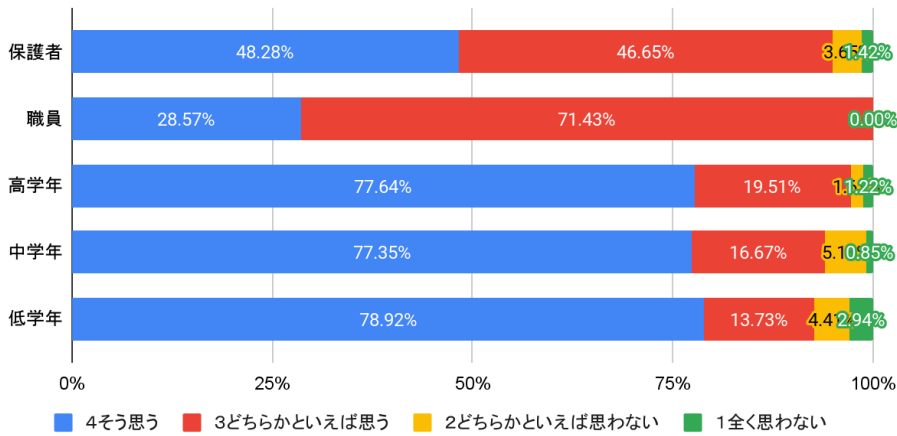
昨年度より
 高学年児童（58%→70%）、
 中学年児童（64%→70%）
 の数値の向上が見られた。数
 値から児童の意欲の向上が感
 じられる。児童の思いを支え
 る環境を今後も大切にしてい
 きたい。

16 担任は相談しやすく、また助力や解決をしてくれる。



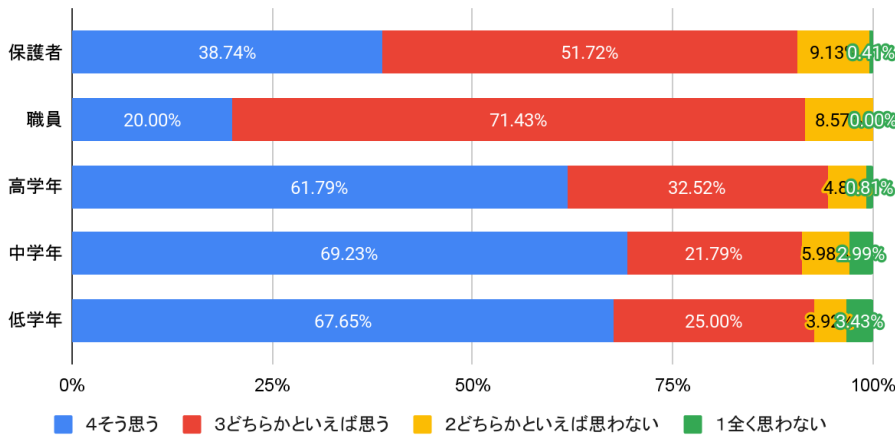
三者共に90%に近い高評
 価となった。今後も児童一人
 一人の気持ちに寄り添い、児
 童自身が最善の行動が選択で
 できるようになるよう、家庭、
 地域と協力し、指導支援に当
 たっていききたい。

17 先生はいつも楽しいクラスになるように努力していると感じる。



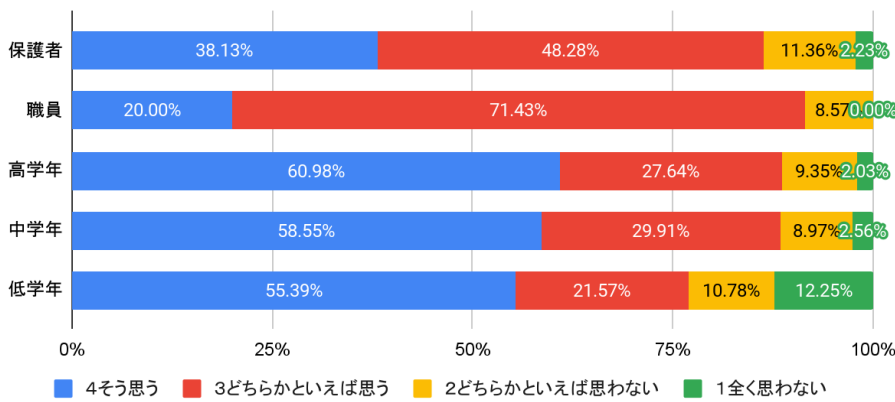
三者共に90%以上の肯定
 的評価が得られた。しかし、
 否定的評価の児童もいること
 にも目を向け、一人一人が安
 心感のある学校となるよう、
 今後も様々な面から温もりの
 あり、思いやりのある学校を
 目指していきたいと考える。

18 授業が分かりやすく楽しいようである。



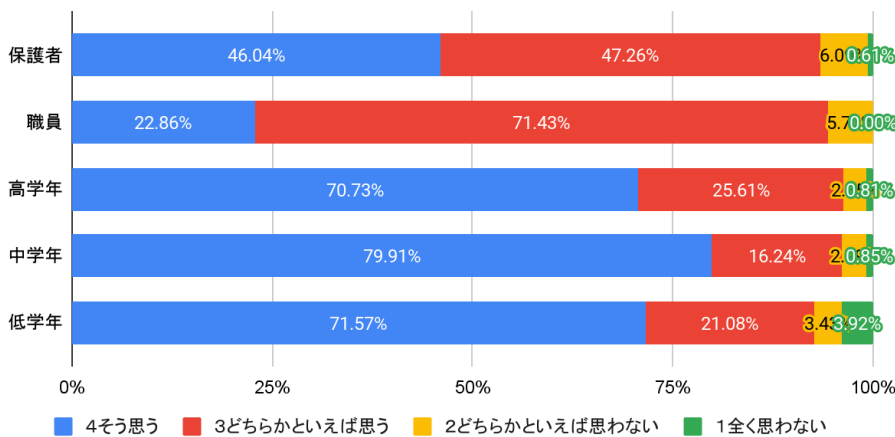
三者共に90%以上の高評価となった。「わかる、できる」といった心情から「楽しい、面白い、もっとやりたい」といった意欲の向上に繋げ、学力の向上にも繋がる授業づくりを職員一同で実践していきたい。

19 担任はお子さんと休み時間などに一緒に遊んだり、お子さんの話を聞いてくれるようだ。



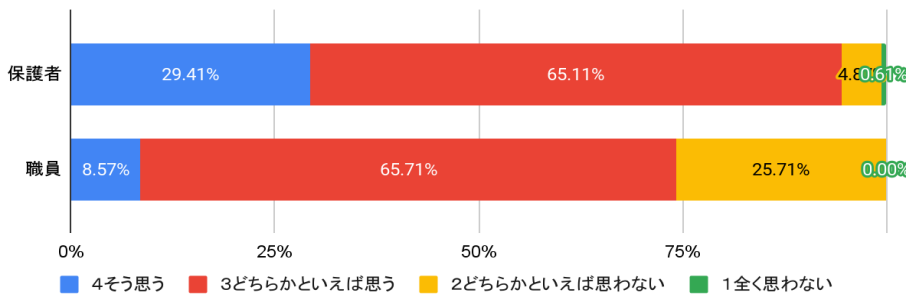
保護者（78%→86%）、職員（78%→91%）は昨年度より向上している。しかし、低学年児童の否定的数値の23%にも目を向け、一人一人の児童の声に耳を傾け、今後も改善をはかっていきたい。

20 お子さんは担任の話を理解している。



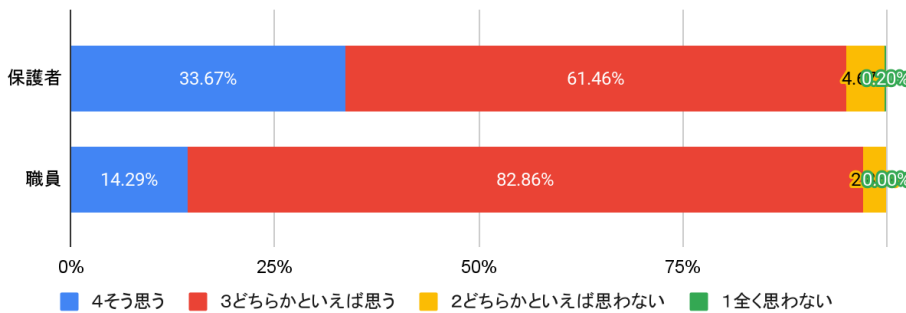
三者共に90%以上の高評価となった。今後も児童の実態に合わせ、わかりやすい指導、支援を意識していきたい。

21 学校は、学習するための用具や施設などが充実していると思いますか？



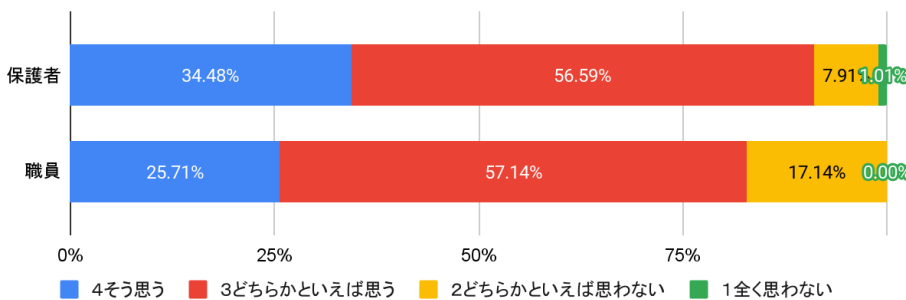
ギガタブの活用が多くみられるようになった。より、個の学習状況に応じた効果的な活用について研修を積み、ICT教育の充実を目指したい。創立27年目を迎え、施設の老朽化や学習用具の劣化がみられるため、計画的に購入していきたい。

22 学校は校舎内外の整備や安全確保に努めていると思いますか？



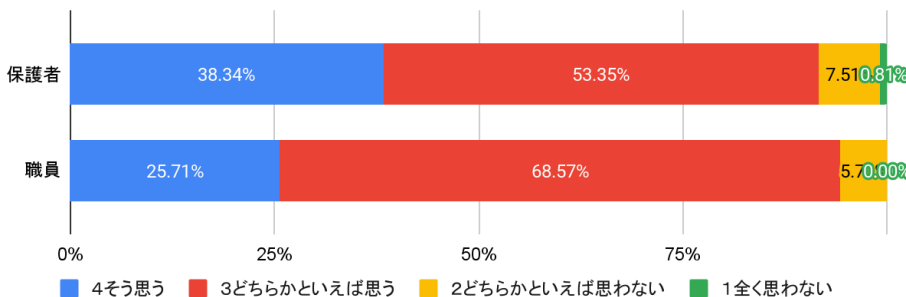
校舎の老朽化は否めないが、職員による毎月の安全点検をしっかりと行い、迅速な修繕と施設の安全の確保を行っていきたい。また、令和6年度トイレ改修がある予定。

23 学校は相談しやすい雰囲気がありますか？



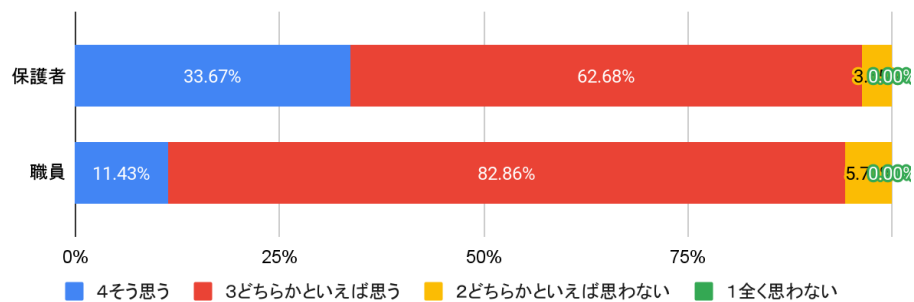
昨年度に比べ、保護者（84%→91%）の肯定的な評価が向上した。児童一人一人が大切な存在なので子どもたちが安心して過ごせるよう、保護者と同じ歩調で指導することが重要となる。今後も保護者と連携し、子どもたちにとって安全、安心な学校となるよう努めていきたいと考える。

24 学校からのお便りや連絡、緊急連絡メールなどは分かりやすいですか？



保護者より90%以上の肯定的な評価となった。保護者、地域との連携が重要となりますので、引き続き、わかりやすく且つ迅速な発信に努めていきたいと考える。

25 学校行事が行われる時期は、適当な時期に設定されていますか？



保護者の方の96%の高評価が得られた。児童の学校での活動の様子が伝わるよう、学校へ足を運んでもらえる機会を増やしていきたいと考える。